



| | |
|--------------|---|
| Title | 阪大法学 57巻 4号 表紙／目次 |
| Author(s) | |
| Citation | 阪大法学. 2007, 57(4) |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/55230 |
| rights | |
| Note | |

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

阪大法学

論 説

二〇〇七年NP T準備委員会

——全体的議論と核軍縮——黒澤 満... 1

求償利得における、他人の事務処理活動に対する

コントロール原理としての事務管理法理の位置づけ

——三種の法定債権相互の関係についての一視点——平田 健治... 49

民政党内閣と大阪財界（一）

——井上準之助蔵相と経済的自由主義——滝口 剛... 75

公人と名誉毀損（一）

——「現実的悪意の法理」導入の可能性——山田 隆司... 97

研究ノート

地方自治体の文化振興法制青田テル子...117

第57巻 第4号

（通巻第 250 号）

（2007年11月）

大阪大学法学会